



Special Olympics
Nippon / Tokyo

とらいあんぐる

Vol.
56

SSKR NEWS LETTER

SSKR NEWS LETTER とらいあんぐる vol.56



Special Olympics Nippon
National Winter Games
FUKUSHIMA 2012

心強く、心豊かに、心ひとつに 心をつくしま ふくしま

2012年第5回スペシャルオリンピックス日本

冬季ナショナルゲーム・福島 開催! [2月10日(金)~2月12日(日)]



東北大震災による原発事故で、今も
厳しい状況下にある福島県で、「冬
季ナショナルゲーム」が開催されました。
猪苗代町総合体育館での開会式では、高
円宮妃殿下ご臨席の下、33の地区組織と
設立準備委員会の選手団約900名が北
から順に入場。有森裕子大会会長からは
「絶対やる!という福島の人たちの強い
気持ちで、この日を迎えることができました」と挨拶があり、福島県の方々の大会へ
かける熱い思いが伝わってきました。東
京選手団は冬季大会過去最大の83名。
アルペンスキー、ショートトラックスピー
ドスケート、フィギュアスケート、フロア
ホッケーに出場したアスリートたちの活
躍ぶりをレポートします。

左写真提供:スペシャルオリンピックス日本

競技を応援して 上達ぶりに感激!

▶アルペンスキー

沼尻スキー場/猪苗代町

アルペンスキーの競技会場は、今年で開業97年、
福島県内で最初に、日本でもいち早くオープンした
沼尻スキー場です。2日間はときどき雪煙が舞う強
い風が吹きましたが、青空ものぞき、コーチ、スタッ
フのサポートと寒さの中で応援したファミリーの声
援に励んで、アスリートは頑張りました。

上級・中級・初級のGSL(ジャイアントスラローム)
が行われたのは、中級のポプラコース。コースは

途中でカーブし、かなり急なところもあります。上
級に出場した2人はアツという間に滑り降り、中級
の17人はポールをきれいに通過し、初級の2人も
しっかりと滑りました。全員怪我もなく、金メダル3、
銀メダル5、銅メダル1を獲得しました。

アルペンスキーは1年を通して雪の上で練習す
ることはできませんが、1歩ずつ積み重ねていけ
ば、少しずつできるようになる! 長野、山形、福島
と連続出場のアスリートも多く、その上達ぶりに感
激した2日間でした。(広報委員 清原れい子)



アルペンスキー



フィギュアスケート

腕を大きく振って、好成績を獲得

▶ショートトラックスピードスケート

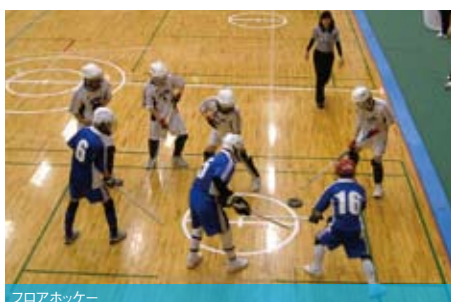
磐梯熱海アイスアリーナ/郡山市

「がんばれ!がんばれえー!!」1位のアスリート、
2位のアスリートがゴールするたびに声援が大き
くなる。最後のアスリートが、たどたどしく、でも確
実にゴールを目指す姿に、観客が1つになっていく。
拍手が大きくなっていく。「ほら、もう少しー!」私
が、細川佳代子さんの著書の中で、一番心惹かれ
た光景が目の前にありました。

SON東京からは、111m、333m、1000mそれぞ



ショートトラックスピードスケート



フロアホッケー



アルペンスキー 初級、笑顔の表彰式



ショートトラックスピードスケート 表彰式

2012年第5回スペシャルオリンピックス日本冬季ナショナルゲーム・福島 東京選手団一覧

種目	選手名	レベル	順位	所属	アスリート		コーチ	
					名前	名前		
アルペンスキー	新居 基彦	中級 GSL	Div-M7	3位	アスリート	アスリート	コーチ	アスリート
	内尾 拓也	中級 GSL	Div-M7	4位				
	大石 淳史	中級 GSL	Div-M4	2位				
	太田 雄大	上級 GSL	Div-2	5位				
	金子 慎吾	中級 GSL	Div-M8	1位				
	木附 雄祐	上級 GSL	Div-2	4位				
	児島 貴行	中級 GSL	Div-M3	5位				
	白岩 省吾	中級 GSL	Div-M9	6位				
	杉山龍乃介	中級 GSL	Div-M3	1位				
	大胡 徹	中級 GSL	Div-M4	6位				
	高平 萌	初級 GSL	Div-F2	5位				
	田口麻紀子	中級 GSL	Div-F4	4位				
	武田 和幸	中級 GSL	Div-M4	4位				
	野口 栄太	中級 GSL	Div-M5	7位				
	藤 幸太郎	初級 GSL	Div-M4	2位				
	松田 元明	中級 GSL	Div-M7	6位				
	松村 重尚	中級 GSL	Div-M9	1位				
	柳下沙也香	中級 GSL	Div-F3	2位				
安村 朝英	中級 GSL	Div-M7	2位					
吉岡 功智	中級 GSL	Div-M5	8位					
吉原 圭輔	中級 GSL	Div-M5	2位					
小松 順子	澤田 誠	関谷 忠明	(石井 公章)	アスリート	アスリート	コーチ	アスリート	
井上 繁	太田 孝	吉田 健司	(古橋真紀子)					
ショートトラックスピードスケート	近藤 剛	1000M	Div-M1	2位	アスリート	アスリート	コーチ	アスリート
	近藤 瑞穂	333M	Div-F1	1位				
	齋藤 新樹	500M	Div-M2	2位				
	志村 悠辰	500M	Div-M1	3位				
	鈴木友里恵	111M	Div-F2	1位				
	野口 隼輝	111M	Div-M4	1位				
	萩原 和輝	333M	Div-M2	2位				
	日野 暁生	333M	Div-M1	2位				
	松野 遼	500M	Div-M2	3位				
	三好 悠治	333M	Div-M2	1位				
	鈴木 健	遠藤 有子	近藤 昭彦	(野口 邦晴)				
	上田 和司	レベルII	Div-M2	4位				
	小高 梨佐	レベルI	Div-F1	3位				
	柿原 政典	レベルII	Div-M2	2位				
	清信 巴菜	レベルIV	Div-F1	1位				
	西村 隼	レベルB	Div-M1	1位				
	橋本 隼人	レベルI	Div-M1	2位				
	前原 里咲	レベルII	Div-F1	2位				
松尾 拓海	レベルB	Div-M1	2位					
松尾日出海	レベルB	Div-M3	1位					
松元 竣資	レベルII	Div-M1	1位					
津川 典久	前原 聡	(日向野美峯)	アスリート	アスリート	コーチ	アスリート		
高橋 麻理	(杉田 秀男)							
阿部 理武	Div-1	3位	アスリート	アスリート	アスリート	アスリート		
磯合 晃輝								
小笠原 城								
小笠原隆三								
小澤 陽介								
片岡 真梨								
加藤 抄弥								
関口 訓正								
曾根原孔太								
高橋 凌								
中根 晃								
福田 啓史								
村岡 諒一								
森本 拓哉								
横山 達也								
吉田 英史								
黒岩周一郎	近藤 秀雄	森本 利彦						
朝岡 美好	高橋 豪	(笹木昌太郎)						
※太字はヘッドコーチ、() 内は追加スタッフ								
団長	安田 準							
副団長	増田 絵里							
事務局	(上田 真也)							

れのレースに10名が参加しました。中でも、近藤兄妹が大健闘。お兄さんの剛さんは1000mに出場。決して短い距離ではないため、低い姿勢を保って滑り続けるのは疲労も溜まると思うのですが、それを感じさせない笑顔のスケーティングでした。そして、妹の瑞穂さん。競技1日目、調整のため随分リンク上で待たされ、かなり集中力を欠いたのではないかと想像されるのですが、いざスタートしてみるとそんなことは微塵も感じさせなく、ぐんぐんとライバルを引き離す力強いスケーティング。腕を大きく振って、余裕の1位でした。数年前にお見かけた時よりも数倍成長した姿が見られ、嬉しく思いました。アスリート、ファミリーの皆さん。福島大会、お疲れ様でした!(広報委員 岩田直子)



アルペンスキー ボールを通過

氷上にきれいな花を咲かせました

▶フィギュアスケート

磐梯熱海アイスアリーナ/郡山市

SON東京からは、レベルBとレベルIからレベルIVまでの競技に、10名のアスリートが参加しました。

レベルB以外は、曲に合わせた演技が求められるため、みな本番スタートぎりぎりまで、繰り返し練習に励んでいました。楽しくて仕方がない様子でリンクを駆ける上田さん、コーチと演技のポーズを確認する小高さん。橋本さんは、個性的な振り付けを素敵な衣装でしっかりこなし、観客を沸かせました。

しかし、何と言ってもレベルIVの清信巴菜さん。



ショートトラックスピードスケート

自信にあふれるなめらかな演技は、正にリンクを舞うという雰囲気、観客を引き込む滑りでした。残念ながら最終日の演技の終わりに転倒してしまいましたが、「大丈夫!もう終わり終わりー!」という声援を背に、最後まで立派に演技しました。審査員と観客に挨拶する姿に、名前にも負けぬ「ハナ」を感じました。

心から楽しんで演技している姿、練習中は確認するようにコーチを頼るのに、本番ではたった一人、自分を信じて最後まで演技する姿。福島大会のリンク上には、赤坂サカスのリンクで見た時より、一回り大きくなったアスリート達がいきました。かっこよかったです!ありがとう!(広報委員 岩田直子)



フィギュアスケート

この悔しさを、宝物にしよう

▶フロアホッケー

猪苗代町総合体育館「カメリーナ」／猪苗代町

ナショナルゲームが終わりました。3ライン4試合に9ライン3試合。体力的にも精神的にもタフ



フロアホッケー試合開始!

でしたが、アスリートは気持ちを1つにして、最後まで諦めずに走り、シュートを打ち続けました。練習では

見たことがないほど猛烈なスティックチェック、周りを良く見て出したパス、諦めずにバックを取りに行く姿。実力を出しきった大会でした。

また、いつもあまり話さないアスリートが仲間とおしゃべりし、笑い、声を掛け合っていて、チームとしての一体感が強く感じられました。メダルを取ったことより皆が大きく成長したことが一番の成果です。

でもアスリートの皆の目標は「絶対金メダルを取る」でした。韓国の世界大会の夢は消えました。皆、後悔することがあるはず。銅メダルを取れたことより、目標を達成できなかった悔しさのほうが、



フロアホッケー 表彰式

きっと皆の宝物になります。今の気持ちを忘れずに、1回1回の練習を大切に、また次を目指して皆で頑張りましょう!(フロアホッケーコーチ 朝岡美好)

2012年度定期総会を開催

3月10日(土)

認定NPO法人スペシャルオリンピックス日本・東京の2012年度定期総会が、東京YMCA 東陽町センター視聴覚室で開催されました。

第1部では、昨年度にご協賛・ご協力をいただいた企業・団体の方々に感謝状を贈呈しました。第2部では、2011年度事業報告及び収支計算書、2012年度活動方針及び事業計画、収支予算書が満場一致で承認され、第3部では、退任委員長への感謝状

や各委員長への委嘱状が授与されました。

定期総会終了後、冬季ナショナルゲーム・福島大会の報告会が行われ、参加したアスリート、コーチの「がんばった!」「楽しかった!」報告に、会場から暖かい拍手がわきました。



感謝状を贈呈



ナショナルゲーム報告会

WORKING ATHLETES

働くアスリートたち 第14回 長与捷一さん(67歳)

67歳で現役!! 長与さんは今日までずっと仕事を続け、いまも週3日短時間で働き、週2日ボランティアをしています。住まいは、都ホテル近くの閑静な住宅街にあるグループホーム「しろがねホーム」。若々しくて、とても67歳には見えません。「みんなにそう言われる。そんなに見えないって」

▶よく動けるので、60代でも就職できた

長与さんは青鳥養護学校中等部を卒業後、父親の転勤で、スイスで3年間の寮生活を送り、陶器作りや編み物を学んだそうです。その後、帰国。今日まで40年余り、数社で主に清掃の仕事をしてきました。

実家は港区麻布台。1998年に「みなと障がい者福祉事業団」に登録して、「事業団」の就労支援

で、62歳のとき日本橋郵便局に就職しました。清掃の仕事をしていましたが、仕事ぶりが認められて、65歳で2年間の定年延長がかない、昨年秋に退職。今は週3回2時間、慈恵会医科大学でドクターたちが利用する宿直室のシーツ交換の仕事しながら、週2日は「事業団」で清掃のボランティアをしています。

就労支援をしてきた「事業団」事務局長の大森八恵子さんは、「62歳で就職できたのは、若い人よりよく動けたからです。みんなの言うことをよく聞き、自分勝手な行動はしない。約束は守る。仕事を休まない。人の悪口は絶対言わないですね。ちょっとおせっかいなところがあるけれど、みんなに好かれているからいいかしらね。行事のお手伝いもよくしてくれます」

長与さんが仕事で気をつけてきたこと。「上の人から指示されたことをやる。わからなかったら、上の人に聞く。言葉遣いに気をつける。間違えたら、『僕がやりました、ごめんなさい』と謝る。仕事でけんかをしたことはないよ」

▶病気をしないこと。健康が大事

長与さんは8年ほど前に一戸建てのグループホームに入居しました。メンバー5人と世話人さんが一緒です。10年前に開設されたときには周囲から反対の声が上がったそうですが、ホームのまわりの掃除をするうちに理解が深まり、とてもいい間柄になりました。長与さんも毎朝6時から掃除。メンバーのリーダーとしてゴミ出しも担当しています。

「休みのときはテレビを見ている」。お天気のいい日は散歩に。「日比谷公園が大好き。花がきれいで」。楽しみは、グループホームの人たちと行く旅行です。ボウリングで全国障害者スポーツ大会にも出場。たまに、特別養護老人ホームに入居する母親に面会に行ったり、実家に帰って掃除もするとか。好きな食べ物は「納豆」。最近、老眼と言われたそうですが、これまで病気とは無縁です。「病気は全然なし。病欠もなし。怪我をしたこともない」

働き続けられる「秘訣」は、「病気をしないこと。健康が大事だね」。「嫌なこと? 思い出せないなあ。仕事はずっと続けたい」。そのおおらかさも大事なのですね。(ボウリングプログラムに参加)



しろがねホームの玄関で



マイボールで、ストライク!

トライアングル・ストーリー Vol.22

私 ●アスリート：中森潤一
は、油絵を習っています。油絵は、水彩画と違って、何度も上からやり直しができるので、とてもよいです。先生方が、優しく教えてくれますので、とてもうれしいです。私は、自画像や犬の絵、テニスラケットやマンガのコナンの絵を描きました。最初は、苦手でしたが、楽しくなってきました。

絵 ●ファミリー：中森悦子
画プログラムに参加した当初は、手先を使っ
てなにかをすることが苦手の潤一が、続けられるのかなと、少々心配でした。デッサンでは、直線や曲線、見えているもの、見えていないもの、大きさや遠近の関係など、今もとても苦労しています。ですが、塗りになると思い切り好きな色をキャンバスに載せていきます。気持ち良さそうで嬉しそうです。

絵を描くのは、このプログラムに参加しているときだけなのですが、ここに来ると、自然に集中して向き合っていくので、びっくりしてしまいます。真っ白なキャンバスに向かって、戸惑ってばかりの鉛筆や絵筆の運びも、先生方が常に根気強く肯定しながら指導してくださるので、小さな自信が少しずつ積み重なっているようです。

アスリート達も、日頃から絵画に親しんで描き込ん



でいる方から、潤一のような初心者まで和気あいあいと温かな空気に包まれて楽しんでいます。潤一と私にとって毎月1回の凝縮した貴重な時間です。アスリートの個性を大事にして下さり、真摯に指導を続けて下さる先生方、スタッフの皆さまに、深く感謝しております。

●講師：久保田加菜子

油 絵は何層も色を重ねていくことが可能です。色を塗り、表面をしっかりと乾かし、その上か

らまた色を重ねていくと色を濁らせることなく何度も重ねていくことが出来ます。しかし、油絵の具は乾燥が遅いため1日で何層もいっきに色を塗り重ねることは出来ません。描いては乾かし、また描いては乾かす。アスリート達は1つの作品を仕上げるまでに、長い時間をかけて作品と向き合うこととなります。

真っ白なキャンバスに何度も色が塗り重ねられ完成へと至る過程。暗い色が明るい色に塗り変えられたとき、そこにあった形を塗りつぶして消したとき、その試行錯誤の中に彼らの心を感じ取れるような気がしてなりません。そしてそれを拾いあげることが私の役目ではないかと思っています。

彼らはまた、単に絵を描くということだけでなく、絵の具をナイフで混ぜるときの感触やキャンバスに筆を撫でつけるときの感触を楽しんでいるようです。このような「感触」を自然と楽しむことができるという彼らの素晴らしい感覚に感心し、また油絵の魅力にあらためて気付かされました。

アスリート達の言葉を拾って、1人ひとりに合った油絵を楽しむ方法を一緒に見つけ出していきたいと思っています。アスリートの皆さん、いつもたくさんのお見せと感動をありがとうございます。



ご支援、ありがとうございます！

2月2日、スペシャルオリンピックス支援のためのチャリティコンサート「中村紘子ピアノ・リサイタル」が、同コンサート実行委員会主催で紀尾井ホールで行われました。厳しい寒さ

でしたが、華麗で迫力あふれる中村紘子さんの演奏は、ホールいっぱいの聴衆を魅了。いつまでも拍手が鳴りやまみませんでした。同コンサート実行委員会から、SON東京の活動のために250万円を超えるご寄付をいただきました。



法人・団体・個人会員募集中

SON東京の活動は、法人・団体および個人の皆様からの会費と寄付金によってまかなわれています。

正会員 入会金：5,000円 年会費：5,000円

賛助会員 (一口)年：3,000円～

郵便振込口座：00140-1-723232

※便利な口座振替をご用意しています。
※法人・団体会員については、事務局までお問い合わせください。

今後の予定

- ◎ 2012年4月1日(日) ゼネラルオリエンテーション&アスリート理解/バスケットボールコーチクリニック
- ◎ 2012年5月12日(土) ゼネラルオリエンテーション&アスリート理解/ボウリングコーチクリニック
- ◎ 2012年6月16日(土)・17日(日) 第12回SON東京 夏季地区大会
- ◎ 2012年7月28日(土) 2012年第1回SON関東ブロック フロアホッケー競技会

SON東京オフィシャル
スポンサー

